

## 令和4年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和4年9月28日(水) 16:00 ~17:10

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者 11名：笹良剛史(豊見城中央病院)、屋良尚美(県立中部病院)、野里栄治(北部地区医師会病院)、中村清哉(琉大病院)、中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、三浦耕子(県立中部病院)、小波津真紀子(沖縄県健康長寿課)、名嘉真久美(がん患者会連合会)、増田昌人(琉大病院)

欠席者 2名：酒井達也(八重山病院)、朝川恵利(宮古病院)

陪席者 3名：有賀拓郎(琉大病院)、狩俣勇斗(琉大病院)、三井清美(琉大病院)

### 報告事項

#### 1. 令和4年度 第1回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

野里委員より、資料1に基づき、令和4年度第1回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があった。中島委員より、報告事項10. その他 について、議事要旨の訂正ではなく、会議内容についての訂正であり、どの様に対応していただいているか確認したいと依頼があった。増田委員より、確認後、文書にてご連絡致しますと回答があった。

#### 2. 令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。

#### 3. 令和4年度 第1回、第2回緩和ケア・在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨

資料3に基づき、令和4年度第1回、第2回緩和ケア・在宅医療部会在宅ワーキング議事要旨が承認された。

#### 4. 令和4年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 研修ワーキング議事要旨

資料4に基づき、令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会研修ワーキング議事要旨が承認された。

#### 5. 令和4年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表について

増田委員より、資料5に基づき、緩和ケア研修会の日程が報告された。現在のところ、琉球大学病院以外は対面開催とのことだった。

屋良委員より、10月22日(土)開催の県立中部病院の緩和ケア研修会については八重山病院と共同開催、宮古病院とも別日程で共同開催を予定していると報告があった。

#### 6. 令和4年度 緩和ケア研修会の報告書について

中村委員より、資料6-1に基づき、琉球大学病院主催第1回沖縄県緩和ケア研修会2022(9月4日(日)開催)について報告があった。WEB開催ではあったが、台風が重なったため、開催の判断の有無や、また、受講生の参加態度について課題が残った。利点としては、感染可能性がないため大人数の受講者でも対応ができ、今後もWEB中心に開催していきたいと思っているとの事だった。

足立委員より、資料6-2に基づき、那覇市立病院主催第2回沖縄県緩和ケア研修会2022(9月10日(土)開催)について報告があった。当日2名の欠席があり、欠席理由について、1名はe-learningの受講が終わらなかった、1名はコロナに感染したためとの事だった。また、当日の

検温で37℃を超えている参加者がおり、クラスターの起こっていた科に所属していたため、N-95のマスクを着用させ、抗原検査を行い、結果が出るまで他の参加者と離し受講させた。検査結果は陰性だったが、N-95のマスクはそのまま着け参加させたとの事だった。また、その後も発症はしなかったとの事だった。

7. 令和4年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)について

資料7に基づき、今年度のE-FIELD開催について笹良委員より報告があった。来年度の開催方法については未定だが、今年度はWEB開催となる。プログラムについて、10月開催される地域の研修会については従来のもと同様だが、後半は新しいプログラムで提供することになっているとの事だった。参加医療機関については現在のところ未確認であるとの事。また、指導者研修会を開催し、3年後をめどに各都道府県でファシリテーターや講師を10名程育成し、その後、事業を都道府県へおろすような形で進んでいるとの事だった。指導者研修会を受講頂く方の人選についてはこれから進めていくと報告があった。

8. 日本緩和医療学会 第4回九州支部学術大会について

笹良委員より、日本緩和医療学会 第4回九州支部学術大会のホームページより報告があった。11月26日(土)に大分でハイブリッド形式の開催となっており、昨日査読作業が始まったところとの事だった。<http://square.umin.ac.jp/kanwa-ks4/>

9. 「沖縄県内のがんに関する医療情報」のがんじゅうネット掲載について

笹良委員より、プロフェッショナル向けの情報収集・掲載について、中島委員へご協力いただきこれから進めていくところだと報告があった。中島委員より、教育ツールの他に、困った時の相談ができるような機能や、緩和ケアに関する研修会や研究会をまとめたサイトの作成を進めており、来年度の間あたりにはサイトを立ち上げている予定と報告があった。

10. 2022年度緩和ケアおよび精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会について

増田委員より、資料9に基づき報告があった。現在、琉球大学病院での緩和ケア指導者修了者は以前に比べ少なくなっており、みなさまの病院でも現在在籍している指導者修了者の確認と後継者の育成をお願いします、と依頼があった。笹良委員より、これから指導者研修会を受講される方について今後の活動に役立つこともあると思うので、共有をしていただきたいと依頼があった。

11. 2022年度国立がん研究センターが実施するがん診療に携わる医療従事者等に対する研修について

増田委員より資料9に基づき国立がん研究センターで行っている研修会について情報提供があり、拠点病院でなくても受講できるものもあるので受講して下さいと依頼があった。

12. 第2回沖縄緩和ケア研究会学術大会について

中島委員より、資料10に基づき10月10日(月/祝)に開催される「第2回沖縄緩和ケア研究会学術大会」について報告があった。オンラインで開催、参加費は無料とのこと。シンポジウムの「コロナ禍における緩和ケアの取り組み方」では緩和ケア病棟の医師、看護師、在宅診療所の医師、急性期病院側からの発表をしていただく。ぜひご参加下さいと依頼があった。

13. その他

特になし

## 協議事項

### 1. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

有賀先生より、資料10に基づき報告があった。結果より、今後のがんのつらさのスクリーニングと緩和ケアの介入は今後も続けた方がよいことと、現在行っている毎日の記載を当院のモデル病床だと2～3日またはそれ以下、項目に関しても減らした方がよいと考察されるとの事だった。詳細については第2回沖縄緩和ケア研究会学術大会で報告するので是非ご参加くださいと依頼があった。増田委員より、項目数を維持して週に2～3日にするのか、または項目数を減らして毎日聞くのか、どちらが良いのかと質問があった。有賀先生より、今回の研究からすると、項目数も頻度も減らした方がよいと結果が出ていると回答があった。また、結果からすると標準化ツールのIPOSの使用が良いと個人的に感じているとの事だった。中島委員より、他者評価的に言うときSTASか、またはIPOSの医療者評価、余裕が出てきたらIPOSの患者評価を加えたら更に良くなると思う。沖縄県ではIPOSに向かって進めていくのが良いのではと意見があった。

### 2. 「がん診療連携拠点病院等の整備に係る指針」改定について

増田委員より、資料11に基づき説明があった。前回と大きな違いは、都道府県拠点病院は県全体の面倒をみる病院、地域拠点病院は二次医療圏のレベルアップを図る病院と定義付けされたことと、がん診療連携協議会の権限および役割が今までの10倍に増えたことだが、沖縄県をベースにしているので、沖縄県での増加は少ないとの事だった。緩和ケアに関しての要点としては、①神経ブロックや緩和的放射線照射等の専門的な緩和ケアの実施体制等を地域で共有し、紹介・逆紹介を積極的に行うこと、②緩和ケアチームに紹介されていない患者についても緩和ケアチームは気にかけること③疼痛の緩和に関しては、緩和ケアチームではなく、主治医が主に対応することの3点となる。その他は時間の関係で省略するので、拠点病院の方は読み合わせをして頂きたいと依頼があった。

また、毎年9月末位に行われる「がん診療連携拠点病院の現況調査現」について、過去に一部の病院で虚偽の報告や、毎年のように項目が増えて厳しくなった時期もあった。そのため今後4年がかりで調査項目を大幅に改定することになったと報告があった。

### 3. 次回令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

令和4年12月頃 15:00～17:00の間で1時間予定

### 4. その他

特になし

以上